



ニュースリリース

Avid、ニュース制作・配信を加速するための、 クラウドベースのアプリ、サービス、ソリューションを発表

～Avidは、ニュース・報道がクラウドと人工知能を利用して、高品質で魅力的なストーリーをテレビやソーシャルメディアにすばやく効率的に提供できるようにします～

2018年4月13日(金) - 国際的なメディア組織、企業ユーザー、クリエイティブ・プロフェッショナルに、メディア・アセットの制作、配信、収益化技術を提供するAvid®(Nasdaq:AVID)は、クラウドでニュースワークフローを加速するためのアプリ、サービス、ソリューションを発表しました。これらのイノベーションは、どのようなデバイスでもニュース視聴者を呼び込む重要な機会を捉えるために必要なコラボレーション、アクセシビリティ、配信を最適化します。Avidは、ニュース組織がテレビ、ソーシャルメディア、その他のメディアへの最新ニュースの作成、管理、配信をこれまで以上に迅速に行うことを可能にしています。

AvidのMarket Solutions担当副社長、Alan Hoffは次のように述べています。「最大のアプリケーション、サービス、ソリューションを発表することで、ニュースコミュニティがクラウドの力を引き出し、ストーリーをオーディエンスへ届けることが可能になります。私たちは、クラウドのパワー、スケーラビリティ、弾力性、そしてMediaCentral®の機能を拡張したエコシステムの成長により、お客様がこれらを活用していくことを楽しみにしています」

ニュース組織があらゆるデバイスに配信されるニュースコンテンツに対する消費者の需要を満たしながら、コラボレーションとコンテンツへのアクセスを最適化できるようにするAvidのニュースワークフローのイノベーションは、Avidの業界をリードする次の製品を統合しています

- **Avid | On Demand:**
必要に応じてメディア制作機能を提供するクラウドサービスおよびソリューションプラットフォーム、Avid | On Demandにより、メディア組織は、必要な機能をプロジェクトごとに最適な弾力性をもって、長期間にわたる実装や大規模な設備投資なしで、便利に導入することができます。
- **MediaCentral:**
MediaCentralプラットフォームは、情報収集とコンテンツ作成からマルチプラットフォーム配信に至るまで、ニュース制作のための最も包括的なエンドトゥエンドのソリューションを提供します。完全にカスタマイズ可能でモジュラー化されたMediaCentralは、あらゆるデバイスでアクセス可能な画期的なクラウドベースのユーザーエクスペリエンスを備えています。ワークフローモジュールとアプリは、幅広いメディアサービスとパートナーコネクタを提供しています。すべてのユーザーは、完全に統合されたワークフロー環境で接続され、すべてのメディアは、オンプレミス、プライベートデータセンター、またはパブリッククラウドを介して統一されたビューで取得可能です。新しいMediaCentralアプリケーションには次のものがあります。
 - **MediaCentral | Publish app** (提供開始): ジャーナリストとプロデューサーがオンエアコンテンツをウェブサイトやソーシャルメディアプラットフォームの視聴者に配信できるようにします。



- **MediaCentral | Rundown app** (提供開始): ストーリーの複製、グループ化、関連付け、ライブニュースショー制作中のモニタ機能の実行を容易にすることで、プロデューサーはランダウンを管理し、ショーを制作できます。
- **MediaCentral | Research app** (2018 年夏提供開始): ジャーナリストはニュースフィード、ソーシャルメディアなどのニュースコンテンツの取り込みを統合して最新の開発情報を記事に組み込むことで、ニュース収集を簡素化できます。
- **Maestro™ News app** (2018 年後半提供開始): MediaCentral | Cloud UX で使用可能な新しい Maestro News はどこからでも完全なグラフィックス制作ワークフローへのアクセスを提供します。ジャーナリストはクリップや画像を MediaCentral から Maestro | New のニュースグラフィックステンプレートに直接ドラッグアンドドロップできます。これにより、リアルタイムのグラフィックス制作を加速します。
- **x.news** (2018 年夏提供開始): Avid Alliance のパートナーである x.news は、MediaCentral SDK を活用して、ソーシャルメディアやニュースティックターのフィードをモニタリングするためのアプリを統合し、ジャーナリスト、ディレクター、プロデューサーに独自の記事を制作することに役立てます。
- **Avid NEXIS® | E5 NL** (2018 年夏提供開始): 新しい Avid NEXIS | E5 NL は高密度のオンプレミスのニアラインストレージソリューションで、ブロードキャストチームのアーカイブメディアへのアクセスを高速化し、高解像度アセットのプロキシをすばやくブラウズ、検索、選択することができます。この機能により、ニュースサイクルの変化に合わせて理想的なクリップを検索するだけで、大量の高解像度素材を復元する必要がなくなります。Avid NEXIS | E5 NL で即座に利用可能なプロキシを使用してラフカットシーケンスを作成し、必要なクリップだけをテープデバイスから部分的にリストアすることができます。まだすべての高解像度アセットが復元されていない状態でも、プロキシを使用して放映することも可能です。これにより、ニュースチームは可能な限り最善のストーリーを 1 秒でも早くオンエアすることができます。
- **Avid FastServe™ | Playout** (2018 年夏提供開始): ビデオクリップ、画像、モーショングラフィックス用の新しいファイルベースの再生サーバーである FastServe | Playout は、IP I/O と UHD 再生の両方をサポートし、IP と SDI の両方を同じ設定で使用できます。FastServe | Playout は MediaCentral ベースのニュースワークフローに深く統合されているため、即座にワークフローを改善し、コンテンツをローカルストレージにコピーすることなく、解像度が混在しているメディアをトランスコードすることなく Avid NEXIS から直接再生できます。
- **Avid | Shared Library On Demand** (available second half of 2018): Avid | On Demand クラウドサービスとソリューションプラットフォームの一部である、Avid | Shared Library On Demand は、ユーザーが MediaCentral プラットフォームを使用してコンテンツを保存、管理、検索が可能なメディアライブラリを提供する強力なクラウドベースのソリューションです。編集者、ログ担当者、ディレクター、プロデューサー、アーカイブ担当者はすべて共通のライブラリーに安全に接続することができます。共通ライブラリーを使用すると、どのデバイスからでもメディアにアクセスできます。
- **Avid | AI** (2018 年後半提供予定): Avid | AI は、Avid | On Demand クラウドサービス・ソリューション・プラットフォームの一部であり、コンテンツインデックスのための機械学習から、非常に精度の高い顔認識、シーンの検出、音声からテキストへの変換などを含む一連のクラウドサービスを提供します。Avid | AI は、Avid による開発ツールと、マイクロソフト社の Cognitive Services からのツールの組み合わせであり、MediaCentral プラットフォーム



上に格納されているコンテンツの検索を驚異的なレベルで強化し、圧倒的な柔軟性をもたらしめます。

- **Avid | Transformation** (2018 年後半提供予定): Avid | Transformation は、Avid | On Demand クラウドサービス・ソリューション・プラットフォームの一部であり、自動トランスコード、ウォーターマーキング、コンテンツのパッケージ化により、あらゆるプラットフォーム、デバイスに配信するための自動化された一連の変換サービスです。Transformation サービスは Avid および、認定パートナーによって開発にされており、ユーザーはニーズと求める価格帯に最適なサービスを柔軟に選択できます。

MediaCentral によるニュースワークフローのイノベーションに関する詳細はこちら
<http://www.avid.com/solutions/news-production>.

Avid について

Avid は、栄えある賞に輝く映画作品、テレビ番組、ニュース番組、スポーツイベントのテレビ放送から、音楽録音、ライブ・コンサートツアーにいたるまで、世界中が観て、聴いて、愛するメディアの協調制作、アセット保護、配信のためのデジタル・オーディオとビデオ・テクノロジーを開発し、業界で最もオープンで、革新的かつ包括的なメディアプラットフォームを提供します。Avid の最も有力で先進的なソリューションには、Media Composer®, Pro Tools®, Avid NEXIS®, MediaCentral®, iNEWS®, AirSpeed®, Sibelius®, Avid VENUE™, Avid FastServe™, Maestro™, PlayMaker™などがあります。

アビッド テクノロジー株式会社は米国 Avid Technology の 100% 日本法人です。 www.avid.com/ja

**当資料は、2018 年 4 月 7 に米国で発表されたニュースリリースの抄訳です。
<http://www.avid.com/press-room/2018/04/news-workflow-innovations>

本プレスリリースについては、以下までお問い合わせください。
アビッド テクノロジー株式会社 マーケティング部 フィールドマーケティングマネージャー 大塚健太
kenta.otsuka@avid.com

Avid のソーシャルメディアをご利用ください。

Avid のソリューションおよびサービスについて、詳しくは www.avid.com/ja、[Instagram](#)、[Twitter](#)、[YouTube](#) をご覧ください。また、Avid の [Facebook](#) ページ、音楽や映像制作に役立つ情報をお届けする [Avid ブログ](#) もどうぞご利用ください。

© 2018 Avid Technology, Inc. 無断転載・複写を禁じます。Avid、Avid ロゴ、Avid Everywhere、Avid NEXIS、iNEWS、Interplay、AirSpeed、MediaCentral、Media Composer、PhaseFind、Pro Tools、ScriptSync、Sibelius は米国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc またはその子会社の商標または登録商標です。「Interplay」の名称は、Interplay Entertainment Corp. の許可を得て使用しており、同社は Avid 製品に対してなんら責任を負うところのものではありません。文中に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。記載の価格はすべて国内のみで有効なメーカー希望小売価格です。価格は予告なく変更される場合があります。

###